

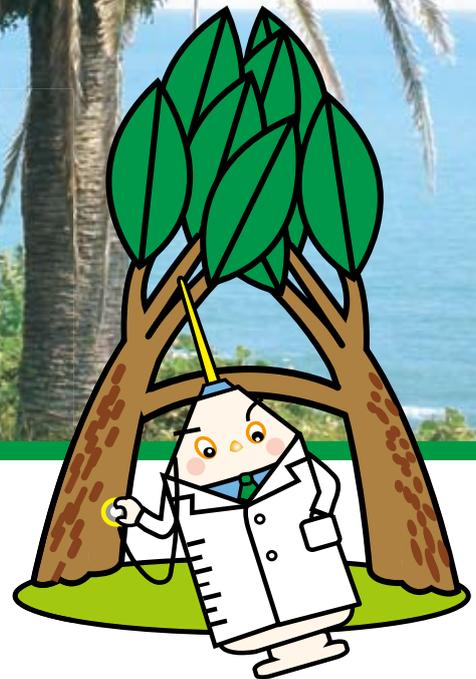


殺虫剤/樹幹注入剤

アトラック[®]液剤

飛散しない!
樹木の
害虫駆除剤

- 薬液の飛散がなく、散布が難しい場面でも安心してご使用できます。
- 注入した薬剤は速やかに分散し、長期間効果が持続します。
- 人畜毒性は「普通物」で、安全性の高い薬剤です。
- 樹幹部に開ける穴の大きさが小さく、数も少ないことから樹木への影響は僅かです。
- 大きな防除機材や水を必要とせず、騒音もなく周辺に飛散しないので、時刻や風向き等を気にすることなく施工できます。



syngenta[®]

殺虫剤/樹幹注入剤

アトラック[®]液剤

包装：600ml (60ml 注入専用容器入り×10本) 紙箱入り
 成分：チアメトキサム・・・4.0%
 有機溶剤、界面活性剤等・・・96.0%
 人畜毒性：普通物



適用害虫および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
ヤシ	ヤシオオサゾウムシ	幹材積1m ³ 当り 400~600ml	幼虫発生期	3回以内	樹幹注入	3回以内

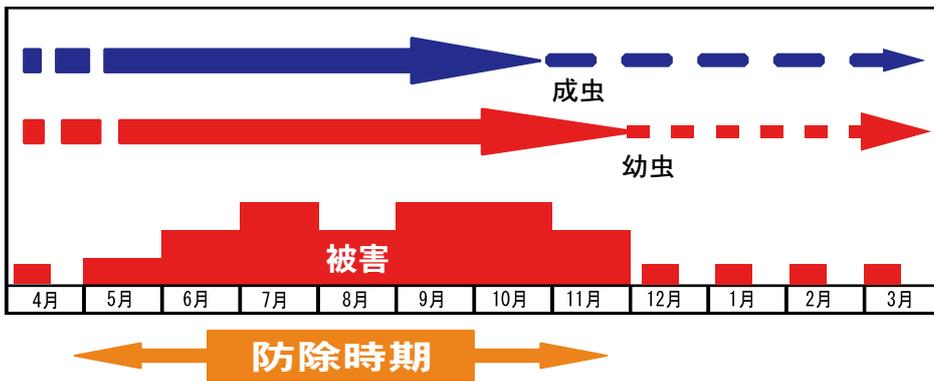
注入本数早見表 (400ml/m³)

胸高直径 (cm)	樹高 (m)							
	3	4	5	6	7	8	9	10
40	3	3	4	5	6	7	8	8
45	3	4	5	6	7	8	10	11
50	4	5	7	8	9	10	12	13
55	5	6	8	9	11	13	14	16
60	6	8	9	11	13	15	17	19
65	7	9	11	13	15	18	20	22
70	8	10	13	15	18	21	23	26
75	9	12	15	18	21	24	26	29
80	10	13	17	20	23	27	30	33

注入本数早見表 (600ml/m³)

胸高直径 (cm)	樹高 (m)							
	3	4	5	6	7	8	9	10
40	4	5	6	8	9	10	11	13
45	5	6	8	10	11	13	14	16
50	6	8	10	12	14	16	18	20
55	7	9	12	14	17	19	21	24
60	8	11	14	17	20	23	25	28
65	10	13	17	20	23	27	30	33
70	12	15	19	23	27	31	35	38
75	13	18	22	26	31	35	40	44
80	15	20	25	30	35	40	45	50

ヤシオオサゾウムシの発生消長、防除時期 (参考)



予防には：微害地域 5~6月頃に幹材積1m³ 当り600mlを注入します。
 激害地域 5月頃に幹材積1m³ 当り600ml、8~9月に同量を追加注入します。
 ※ 被害状況に応じて、1年間に3回以内の使用回数で注入してください。
 駆除には (被害が確認された時点)：微害地域：幹材積1m³ 当り400mlを注入します。
 激害地域 幹材積1m³ 当り600mlを注入します。
 ※ 頭頂部の葉柄が倒伏したヤシ (末期症状) には駆除効果が得られませんので、頭頂部の葉柄が直立しているヤシ (初期~中期症状) にご使用ください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空容器は圃場などに放置せず適切に処理してください。

販売

シンジェンタ ジャパン株式会社

プロフェッショナル・プロダクツ部

〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX 21階

(TEL) 03-6221-3802 (FAX) 03-6221-3899

http://www.syngenta.co.jp

取扱い

※この印刷物の記載内容は2008年3月現在のものです。 08年4月作成 (ALV5K-ATRヤシ01)